

5月は、新年度の取り組みが本格化し、事業や研究開発においても新たな一步を踏み出される方が多い時期です。今回は学会発表での“公開扱い”のトラブルに加え、ブランド保護の支援事例、最新トピックスをお届けします。

—vol.003—2026.05.15—

【第3号】 INPIT メールマガジン | 学会発表が“公開扱い”に？& 気づいていなかったロゴの価値が動き出すとき

01 | 意外とハマる知財の落とし穴&ワンポイント ～vol.003 学会発表が“公開扱い”に？

研究成果を学会や論文で発表した後、「その技術は特許になりません」と言われる——これは“公開扱い”による新規性喪失でよく起きるトラブルです。

特許は出願前に内容を公開すると原則 NG。ただし日本には、新規性喪失の例外があります。しかし、この例外がない国・適用が非常に限定的な国もあるため、海外出願を考える場合は要注意です。

ワンポイント：

- ・学会発表の前に特許出願の検討
- ・海外出願の有無を早めに判断

ご相談はアカデミア知財支援窓口あるいはお近くの INPIT 知財総合支援窓口へ。

https://www.inpit.go.jp/katsuyo/ip_academia/index.html

02 | 最新情報トピックス ～直近の募集・イベントをサクッとまとめてお届け～

【公募】 IP ランドスケープ支援事業 第1回公募を開始しました。

<https://www.inpit.go.jp/katsuyo/ipl/index.html>

【PR】 IPL 支援事業 特設サイトを公開しました。

<https://ipl2026-2027.inpit.go.jp/>

【研修】 高度検索閲覧用機器講習会 申込受付中(東京)

<https://www.inpit.go.jp/data/topic/r8fy.html>

【PR】 IP ePlat 令和8年4月コンテンツリリースのお知らせ

https://www.inpit.go.jp/jinzai/topic/info_20260512.html

03 | INPIT は全国どこでもやってくる ～vol.003 気づいていなかったロゴの価値が動き出すとき

自治体と INPIT 知財総合支援窓口が共催した「知的財産基礎セミナー」および相談会の参加企業から、商標に関する相談があり、支援開始。セミナーで知財リスクを知ったことをきっかけに、ロゴマークの保護が必要だと認識し、商標出願を検討。

支援では次のポイントに取り組みました。

- ・ 商標出願のサポート
- ・ 図形部分の共有権利を確認し、課題を整理
- ・ 弁理士と連携し、権利者との調整や持分譲渡の提案
- ・ 商標調査方法・先行商標の確認支援

結果として、使用範囲の広い形で商標登録され、同社のブランド保護に大きく役立っています。

INPIT はこれからも、企業の“気づき”に寄り添いながら支援を続けていきます。

↓ 今回の支援事例(北海道企業)はこちら↓

<https://chizai-portal.inpit.go.jp/supportcase/2025/11/post-1590.html>

04 | 担当者のつぶやき

広報担当の F です！

教育分野最大級の展示会である EDIX 東京 に INPIT が出展しているということで、会期初日に取材してきました。会場では、さまざまな視点から教育に関する商品・サービスが展示されており、初日から大変なにぎわいを見せていました。INPIT ブースでは、「探求学習や人材育成に『知的財産』という視点を。」をテーマに出展しています。本メルマガ配信日の 5 月 15 日も会期中ですので、機会がありましたらぜひブースへお立ち寄りください。